



## かいた 高根小学校だより 第5号 令和5年7月1日

「学校教育目標」かしこく（知）・なかよく（徳）・たくましく（体）

児童数 男子 84 名 女子 84 名 計 168 名



### 多様性と学校教育

校長 原 政幸

「あらたふと 青葉若葉の 日の光」（～奥の細道～松尾芭蕉）これは芭蕉が日光を訪れた際に詠んだ俳句で、東照宮宝物館側にその碑があります。目にやわらかな新緑が、まばゆいばかりの濃い緑に変わり、初夏を思わせる6月1日、2日に6年生の修学旅行を実施しました。事前に実行委員会を組織して、東照宮などの歴史遺産の学習、自ら考える集団行動等、高根小学校の大黒柱として一生懸命取り組んでいました。2学期に行事が集中することを考慮して1学期に移しましたが、学級集団づくりの点からも成長を感じさせる6年生の姿がみられ、充実した修学旅行となりました。



◇華巖滝で集合写真



◇「想像の象」この後、陽明門へ

6月の全校朝会で「多様性と学校教育」という話をしました。2013年新聞広告クリエイティブコンテスト最優秀賞を受賞した「めでたし、めでたし？」というポスターをもとにしました。そのポスターは、桃太郎に出てくる鬼の子が主役です。その子がたどたどしい文字で文を書いています。「ボクのおとうさんは、桃太郎というやつに殺されました。」そして、ポスターの下の方に、「一方的な『めでたし、めでたし』を生まないために。広げよう、あなたがみている世界」とコメントされています。

当たり前に使われる「めでたし、めでたし」が別の立場で見たら、そうではないかもしれない、この別の立場でみることができる力、多様性を理解する力をつけてほしいと話しました。低学年には、少し難しかったかもしれませんが、人は皆「人間として同じ」であると同時に、人は皆「違う人間」です。「一人一人が皆同じく違う」ということ、多様性を認め合うことから、学校は始まるのだと思います。

